

学校だより

中央保育所

⑤

人とのかかわりのなかで

中央保育所は、一歳児(3)、二歳児(3)、三歳児(21)、四歳児(13)、五歳児(19)の59名の園児で生活しています。

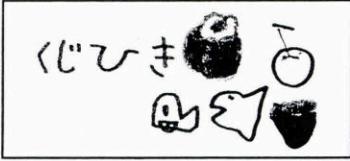
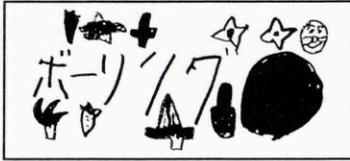
入園、進級以来8ヶ月が経ちました。その間に「お泊まり保育を体験した年長組さんや、運動会では『自分達の運動会をしよう』というテーマで、力を合わせて取り組みま

した。今ではすっかり自信に満ちた顔で生き生きと遊びに取り組めるようになりました。「ねえ。サッカーしようや」と、U君のかけ声で一人二人と次々に仲間が増えて行きます。あこがれのJリーグでしようか得意気にシュートも決まり長い時間遊びが続きます。「ねえ。お兄ちゃん、剣作って」と紙を差し出し剣や手裏

剣を作ってもらったり、見よう見真似で色々な物を作ったりと、年長組のしていることが刺激になって年少組も、自分でやってみようという意欲もわいて自分から取り組んで行こうとする自律の姿にもなつて来ます。

「おはようございます」と登園して来た子ども達は、自分の落ち着ける場所で友達と遊びを楽しみます。

『色々な体験を通して人とのかかわりをもつ』ということとは自分には良さや、イヤなことにもがまんできることなど、人とのかかわりを通して仲よく・楽しい保育所での生活をして行つてほしいと思います。



▶子供達を作ったチケット



▶お泊まり保育

◀お誕生日会で劇遊びをしました



町民文芸

俳句

清風句会

(十一月) (五十音順)

幸祈る親子の姿七五三

上利はな女

さざんかや一夜の嵐花むしろ

岩本さつき

七五三綿菓子手に背てねむる

上田 雪子

お転婆も晴れ着てピース七五三

木村 智子

猪よけの幣のそば道七五三

斉藤 元

山茶花の落花美しき今日掃か

高崎はま子

山茶花の一ひら老の背にこぼ

仁保 民子

神苑の山茶花の下チャボの群

宮垣 萬女

七五三神もカメラも予約済み

山城てる子

新しき明日をひもとく七五三

山野たけ子

山茶花の花の傍らにて立ち話

和田 英二

選者追吟

山茶花に遊ぶ雀は親子らし

富田佳津美

短歌

三隅短歌会

(順不同)

貫い来し子夫のありて寡黙なる日々
に言葉の生れしこの頃
枝先の真赤なりんごめざしつ
つ登りしはしご最後の段に
吉村 恵子

晩秋の山門くぐれば吹き過ぐ
る風に落葉のはらら散りくる
河村 民子

継職の可愛き稚児の行列に我が
孫おればと思いつつ見てお
り
中村タミ子

神の慈悲そそぐがごとき満月の
光浴びたくて車より出づ
河野真理子

旅終えて老いカナリヤの元氣
さを先ずたしかめて靴ぬぐ夫
は
村田 敦子

戦日の遠く寂かに流れゆく
摩文仁の丘のさるすべりの花
(沖繩)
松野美津子
伊藤 一郎

